

2016年4月22日 発行：島根民医連 医系学生サポートセンター  
〒693-0024 出雲市塩冶神前1-6-2

Tel:0853-21-3360 Email:bunsitu@bronze.ocn.ne.jp

## 4月 奨学生会議 多職種連携・チーム医療を学ぶ



4月21日(木)、4月の奨学生会議を松江生協病院で行いました。参加学生は5名。クリクラで松江生協病院で実習を行っている学生にも参加してもらいました。今回は、中四つどいの事前学習として、MSWの坂本さんから、実際に受け持たれた患者さんの事例を提示してもらい、多職種や病院外とも連携して携わった経済的困難を抱えた末期がん患者さんについて話ししてもらいました。坂本さんのお話しは、院内外が多職種と連携して、その方の経済的困難な部分をいかに生活しやすい環境に導くか奮闘された経緯がよく分かるお話でした。また、生協だからこそできる支援の仕方や患者様が相談しやすい環境があるということが分かり、学生もそこに感銘を受けていました。

その後、鈴木先生から普段行っている多職種との連携について話ししてもらいました。チームが連携して医療を行うには、どのようなことが必要かまずは学生に意見をだしてもらい、そこからひとつのスピリットをチームの全員で共有できればよりよい医療を提供できるのではと考えることができました。最後に、熊本の支援に行かれたDMATの紹介と、震災支援で自分たちにできることは何かを考え、眞木先生から医師はサッカー選手のようにできることはすべてやるというスタンスで支援に向かうことが大切だというお話しもいただきました。

5月に米子で「チーム医療・多職種連携」をテーマに中四つどいが開かれます。今回学んだことを5月のつどいでさらに深め、将来の診療でいかしてほしいと思います。

### 😊学生の感想😊

- MSWの方が患者にまつわるあらゆる問題について相談・援助してもらえることは知っていたがその問題について傾聴することで家族を含めた全人的医療の実践に一躍を担っているのだと感じた
- 院内MSWとして実際に仕事をされている方の仕事の様子や思いを伺うことができてよかった。  
「生協だから相談にのってくれる」というところが心に残った
- 患者さんの経済的な背景にもアンテナを張っておいて自分からも積極的に相談ができるようにしたい

